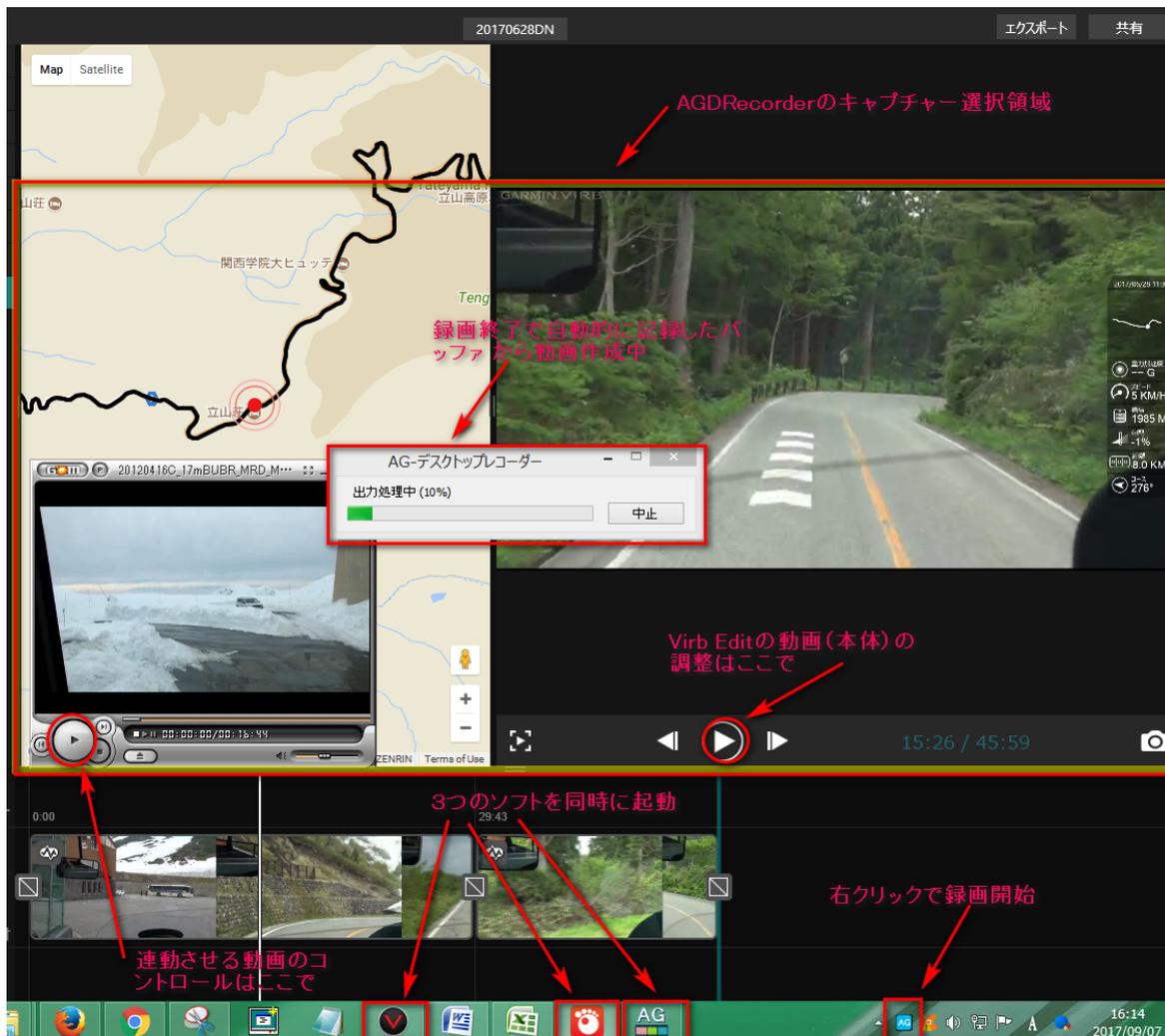


概要

立山積雪深の動画は 2005 年以來多くの動画ファイルが存在するが、これらの中で複数（2-4 種類）の動画を同時に稼働させるのは、地形上の観点等で積雪状況を捉えるに活用出来る可能性が生じた。どのような方法で動画を合成すれば良いか、検討を加えた結果、複数の動画を画面上で同時に動かし、それらを動画キャプチャーで取り込むことで比較的短時間で作成することが可能であることがわかった。

作業の流れ

- 上映する動画の決定：例として 6 月頃の動画と 4 月頃の動画（複数年）を選択する。
- 負荷がかからないように動画サイズの変換を行う。画面上に 4 種の動画を配置する場合は、360×240 程度が望ましい。
- 利用する動画プレーヤーとして GomPlayer を利用した。多くのソフトはスペースキーの利用で一時的停止、再生が可能である。
- 準備が出来たら、AGD レコーダーで動画キャプチャーを行う。
- 完成した動画が複数に分割されている場合は、ビデオ編集ソフトで調整を行う。
- 通常 Youtube に投稿する場合は最長 15 分が制限になっているので、これを分割して投稿する。（申請登録すれば 15 分以上でも可能）



操作手順

1. AGD Recorder を起動し、キャプチャー領域を指定し、スタンバイにする。詳細設定ではコーデックは H.264/AAC(MP4 形式)にする。またリアルタイムエンコードは負荷が高くなるので、バッファリングエンコードを指定する。
2. Virb Edit を起動し、ギャラリーから該当する動画の編集アイコンをクリックし、左側の地図を指定することで、画面上に可変地図 (GPS 軌跡) と動画が同時に閲覧出来るので、開始地点を設定し、待機する。
3. 連動させたい動画を動画プレイヤー (GomPlayer 使用) を起動し、画像サイズ及び位置を決定し、スタンバイ状態とする。
4. AGD Recorder で録画開始後、Gomplayer、VirbEdit の順にクリックし、録画を始め映像を見ながら同位置になるように、双方の動画を調整していく。
5. 道路のカーブの状況やミラーの通過時、道路の避難所や資材置場などを注視しながら、マウス操作で停止、再生を繰り返し位置を同期させる。
6. 完成した動画は動画編集ソフトで不要な部分 (最初と最後) を切り取り完成させる。

ヒント

動画のアップロード及びウェブサイトへの組み込み

出来上がった動画を再編集し 15 分毎に分割したものを Youtube にアップロードする。

アップロードした動画の URL をウェブサイト組み込めば完了。

テストケース :

2012 年 4 月 16 日 バスの後部より上り撮影を逆回転し 下り前部からの撮影として偽装したもの。

2017 年 6 月 28 日 通常室堂からの下り路線を前席から撮影したもの。(VirbEdit)

上記二点の映像を同期することで、多雪期と無雪期の対比を明確に知ることが出来る。

参考 url : [映像の同期](http://hostinger.firebird.jp/clip-syncl/) http://hostinger.firebird.jp/clip-syncl/



HOME BLOG 雪の壁 ▼ GPS ▼ SITE MAP



アルペンルートが開通する4月上旬と少雪期の6月下旬の映像を同期することで、積雪状況の把握が容易になり、今後の解析等に活用できるであろう。

Part1 室堂から弥陀ヶ原上

